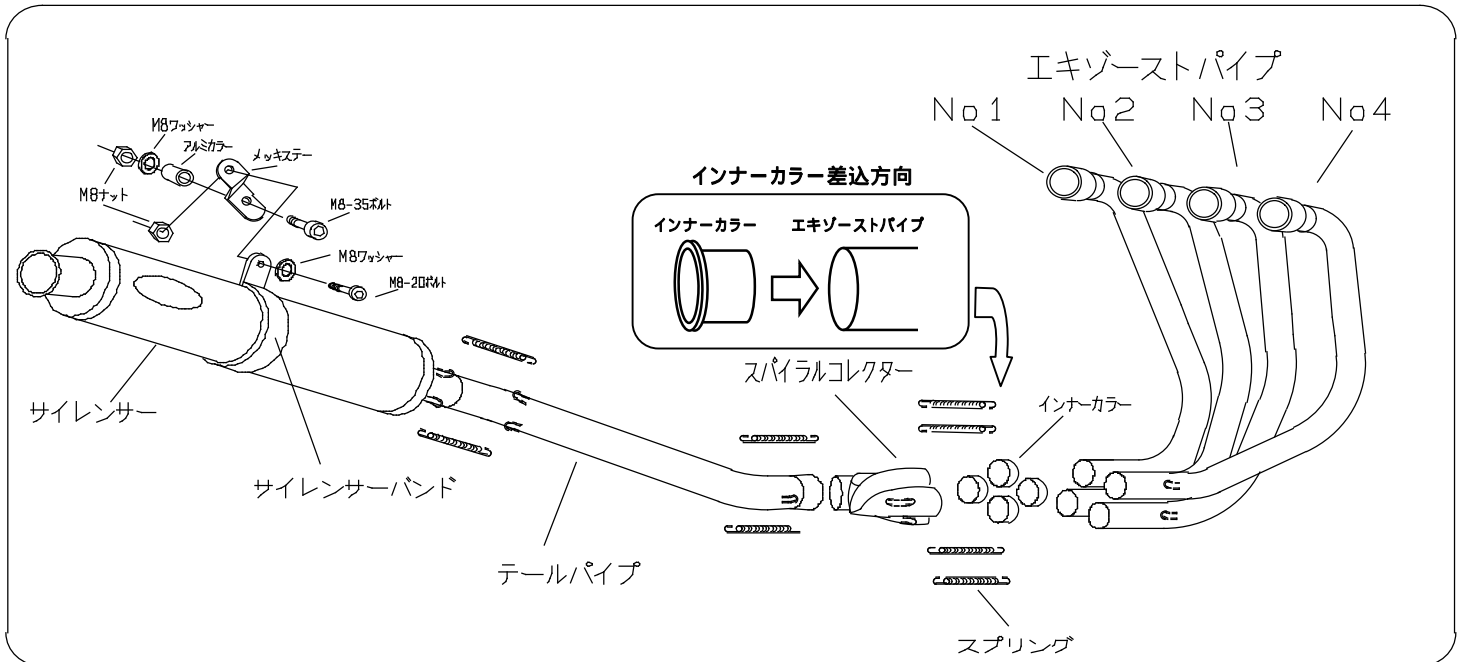


スパイラルコレクター

この度は、ノジマ FASARM マフラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
マフラーの取り付けに関しましては、メーカーサービスマニュアルとこの説明書をよくお読み頂き、必ずエンジンが冷えた状態で作業を行って下さい。
適合車種は、GPZ900R 用となっております。その他の機種には取り付けられませんのでご注意下さい。
取り付け作業に、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。



1 スタンダードマフラーを取り外します。

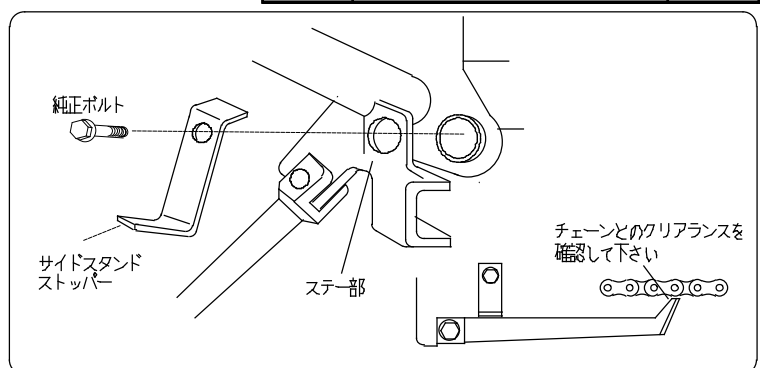
エキパイのフランジ部のナットとテールパイプステー部2箇所ボルト、ナットを外し、スタンダードマフラーを取り外します。このマフラー取り外しの際のボルト、ナット類はマフラーを取り付けるときに使用しますので無くさないように注意して下さい。また、ガスケットは新品に交換して下さい。

2 オイルクーラーオフセットカラーとサイドスタンドストッパーの取り付け

オイルクーラーとステーの間に付属の5mmアルミカラーを挿入し、付属のM6-30Lボルトで取り付けます(下写真参照)。

センタースタンドを取り外し、センタースタンドの左側の穴に外側からサイドスタンドストッパーを取り付けます(下図参照)。ボルトは純正のセンタースタンド左側の物を使用してください。注意)締めすぎますとステー部が変形しますので、固定出来る程度としてください。

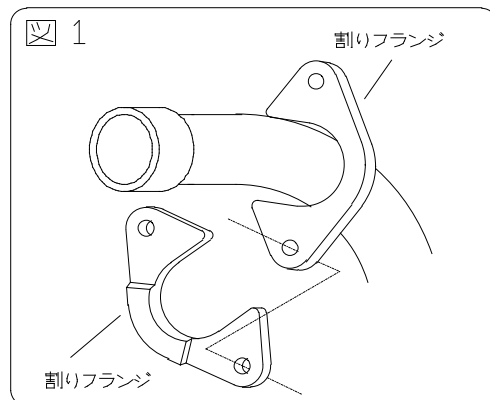
	部品名	数量
1	エキゾーストパイプ No 1	1
2	エキゾーストパイプ No 2	1
3	エキゾーストパイプ No 3	1
4	エキゾーストパイプ No 4	1
5	インナーカラー	4
6	スパイラルコレクター(SC)	1
7	テールパイプ	1
8	サイレンサー	1
9	サイレンサーバンド	1
	帯ゴム	1
	メッキステー	1
10	ボルト M8x35	1
	ボルト M8x20	1
	ナット M8	2
	ワッシャー M8	2
	アルミカラー	1
11	スプリング	8
12	サイドスタンドストッパー	1
13	オイルクーラーオフセットカラー 5mm	2
	ボルト M6-30mm	2



3 マフラーを取り付けます。

a エキゾーストパイプのエンジンへの取り付け

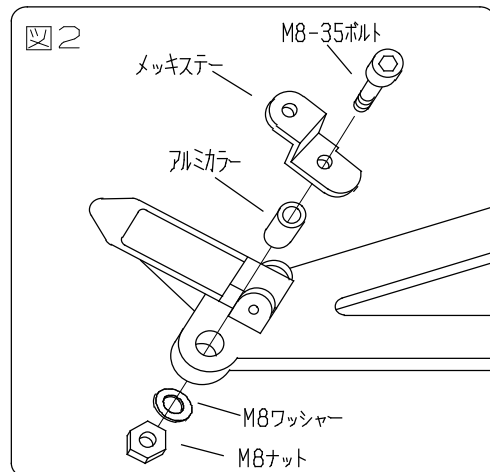
フランジの向きに注意して組み立て、これをNo1 No4 No3 No2の順に1本ずつ取り付けます。(図1参照)この時、フランジ部のナットは仮止めの状態(取り付けしたパイプが少し動く程度)にしておいて下さい。(~ の識別シールは装着後では剥し難いため、番号確認後、組付け前に剥すことをお勧めします。続いて取り付けるスパイラルコレクター部分も同様に行ってください。)



b テールパイプの取り付け

No1 ~ 4の各エキゾーストパイプにインナーカラーを挿入します。(インナーカラーは性能確保のため大変重要です。必ずエキゾーストパイプに取り付けてください。)次にスパイラルコレクター(以下SC)の差込部内側にシリコンボンド等を薄く塗布し、SCをエキゾーストパイプの番号に合わせて差し込みます。入りにくい場合はプラスチックハンマーなどで、エキゾーストパイプを前方からキズを付けないように注意して、軽く叩いて下さい。

テールパイプの差込部にシリコンボンド等を塗布し、SCへ差し込みます。(スイッチ類の配線が干渉しないように注意して下さい)最後にSCとエキゾーストパイプ部(4本)、SCとテールパイプ(2本)にスプリングを掛けます。



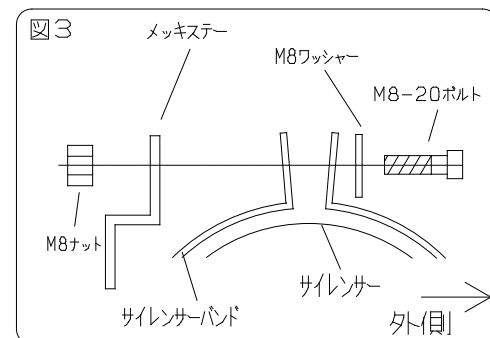
c サイレンサーの取り付け

テールパイプにサイレンサーを差し込み、サイレンサーとテールパイプにスプリングを掛けます。

d サイレンサーバンドの取り付け

まず、メッキステーを図2の様に車体に仮組みします。

次に、サイレンサーにサイレンサーバンドを後ろから差し込み図のように組み立てて、仮止めて下さい。(図3参照)



e 最終取り付け

仮止めたフランジ部のナットを本締めします。この際、フランジ部が傾いたりしないよう、左右のナットは均等に締め込んで下さい。(締め過ぎはスタッドボルトの破損を招きます。ご注意下さい。)

f メッキステー、サイレンサーバンドのボルト、ナットを本締めして下さい。

4 最終確認

以上で作業は終了です。識別シールを剥がしマフラーに付着した汚れをよく拭き取ってからエンジンを始動して下さい。エンジンを始動したら、車体への干渉、排気漏れ等がないかどうか確認して下さい。

5 キャブレターセッティングについて

ファサームマフラーは、すべてスタンダードの状態で性能を発揮するよう設計されております。従ってキャブレターのジェットの変更等、必要はありません。

注

グラスウールは消耗品です。グラスウールの量が少ない状態で走行するとサイレンサーの故障につながる場合があります。当社にてグラスウール交換も行っております。走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷に気を付けてください。サーキット以外では決してバフフルを外さないで下さい。シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。

事故や転倒による修理につきましては、お受けできるケースと修理不可能な場合がありますが、ご依頼の際は一度お電話にてお問い合わせ下さい。その他、マフラー、オートバイなどに関して質問がございましたらお気軽にご連絡下さい。